

令和8年度 別府市立東山小中学校・幼稚園 経営方針

- 〈別府市基本理念〉
- ・自分らしく、竹のようにしなやかに、未来へ生きる人
 - ・国籍や障害の有無等に関わらず、他者や多様性を理解・尊重し、互いに支え合う人
 - ・ふるさと別府のよさを学び、守り、未来の別府の創り手となる人

〈学校教育目標〉 自立・協働・貢献

～自ら学び、互いの違いを認め合い、地域や社会のために行動する園児・児童・生徒の育成～

育成をめざす資質・能力 : 言語能力（言葉を通じて 考えを形成し深める力・考えを伝え合う力）

〈めざす子ども像〉

- 「自立」 問題を解決するために必要な知識・技能を身につける子ども（生きて働く「知識・技能」の習得）
- 「協働」 価値観の異なる多様な人々と協働して問題を解決する子ども（未知の状況にも対応できる「思考・判断・表現力等」の育成）
- 「貢献」 生涯にわたって学び続け、地域や社会のために行動し貢献しようとする子ども
（自らに必要な力を学びとり、人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

〈めざす学校像〉

- 子ども一人ひとりの力を伸ばす学校
- 安心・安全に学ぶ学校
- 家庭・地域と協働して子どもを育てる学校

〈めざす教職員像〉

- 専門性を磨き、協働して教育活動を進める教職員
- 変化を恐れず、よりよいものを目指して挑戦する教職員
- 園児児童生徒・保護者・地域の人々の信頼と期待に応える教職員

学力・体力向上

- 学力の土台として全教育活動での言語活動の充実
「書く」論理的思考力・表現力 「読む」読解力・思考力・語彙力
「聞く・話す」伝え合う力 考えをつなげる力
・レベルアップタイム、朝授業・夕授業
学習内容の定着、個に応じた補充学習の実施
・朝読書・読み聞かせ 読書の推進
- 自ら学びとる力と思考力を育てる授業づくり
・自らの学びを認知したり調整したりする「振り返り」の工夫
・思考ツール、「考えるための技法」の活用
- 一人一台端末を活用した情報活用能力の育成
ICT機器の日常的・効果的な活用
- 健康な体と心を自らつくろうとする意識の向上
- 家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立、家庭読書の推進

協働的な風土の醸成（なかまづくり・自治力の育成）

- 協働的・自治的な児生徒童集団の形成（なかまづくり）
・児童会生徒会及び委員会活動、「東山っ子会議」
縦割り班（異年齢集団）活動の充実
・生活規範の確立「ルールはみんなのためのもの」
・「生徒指導の3機能」を生かした毎日の授業実践
・「人間関係づくりプログラム」の実施
- 部落差別解消教育を核とした人権教育の推進
・人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成
・児童が対話的に進める授業の実践
・人権意識や指導力を高める職員研修の実施
- いじめ・不登校の未然防止に向けた組織的対応、教育活動の推進
- 故郷に学び、地域や社会に貢献しようとする態度の育成
・地域との連携、開かれた学校づくりの推進（学校運営協議会）
・まちまもり協議会と連携した地域人材活用、ボランティア活動の推進

東山幼稚園教育目標「喜んで登園し、遊びを楽しむ子どもの育成」

- めざす子ども像
- 遊びを楽しむ子ども〈考える力〉
 - 挑戦することを楽しむ子ども〈行動する子ども〉
 - 相手の話をきき、関りを楽しむ子ども〈人と関わる力〉
- 今年度の重点目標
- 子どもが喜んで通う幼稚園をめざす
 - 安心、信頼できる幼稚園をめざす

学校・家庭・地域の協働（開かれた学校づくりの推進）

- 学校運営協議会（コミュニティスクール）
・家庭との協働…生活習慣の確立、家庭学習・家庭読書・メディアコントロールの推進
・地域との協働…地域との交流を通じた社会性の育成

働き方改革の推進

- 勤務時間の把握 ○行事・会議・分掌等の精選 ○勤務改善計画の策定と見直し ○ICTの活用（ペーパーレス、一斉メール、アンケート）
- 専門性に基づくチーム体制の構築（養護教諭・SC・SSW等が専門性を発揮できる体制、外部機関との連携）